

令和2年のテングサ作柄について

伊豆分場では、伊豆半島のテングサの作柄を予察するために、令和2年3月上旬から4月中旬にかけて稲取地区から八木沢地区にかけての計11地区、30箇所にてテングサの生育状況を調査しました。調査は、潜水によりテングサの着生面積・密度を観察し、各漁場内の平均的と思われる場所1㎡のテングサ重量と平均藻長の測定を行いました。各地区のテングサ生育状況は以下のとおりです。また、漁場毎の着生量と平均藻長を表1に示しました。

- 稲 取**：(令和2年：平均着生量1,280g、平均藻長18.3cm 平成31年：1,100g、16.5cm) 着生量は前年よりやや増加したが、雑海藻が多く着生範囲に広がりはない。前年並み～やや増と予想される。若干アオが見られた。
- 谷 津**：(令和2年：1,520g、18.8cm 平成31年：1,600g、26.1cm) 着生量は前年並みで、藻長は減少した。着生範囲に広がりがあるため、前年よりも増と予想される。昨年には水深10m前後に着生していたカジメの高齢株が消失していた。
- 白 浜**：(令和2年：1,667g、17.9cm 平成31年：1,550g、16.7cm) 釜の下以外では、着生量は前年より減少した。前年よりもやや減～前年並みと予想される。若干アオが見られた。八代では、アラメ、カジメの葉部の一部が凋落していた。
- 外 浦**：(令和2年：1,500g、15.7cm 平成31年：2,200g、19.2cm) 着生量、藻長ともに前年より減少した。前年よりも減と予想される。若干アオが見られた。湾内の増殖場には、着生範囲の広い良好なテングサ漁場が確認された。
- 須 崎**：(令和2年：1,845g、19.7cm 平成31年：1,300g、19.7cm) 着生量は前年より増加しており、着生範囲にも広がりがあった。前年よりも増と予想される。若干アオが見られた。
- 下 流**：(令和2年：2,000g、15.5cm 平成31年：1,520g、19.1cm) 着生量は前年より増加したが、藻長は前年を下回った。前年並み～やや増と予想される。

- 雲見**：(令和2年：753g、9.9cm 平成31年：220g、8.8cm) 着生量は前年より増加したが、藻長は前年と同様に短く、着生範囲も狭い。昨年同様に低水準ではあるが、前年よりも増と予想される。
- 岩地**：(令和2年：735g、11.3cm 平成31年：880g、10.0cm) 着生量、藻長ともに前年並みであった。着生範囲は狭く、オバクサ主体であった。前年並みと予想される。
- 仁科**：(令和2年：1,522g、11.4cm 平成31年：1,104g、10.1cm) 着生量は前年より増加したが、オバクサが多く、マクサの着生範囲は狭い。前年並み～やや増と予想される。
- 田子**：(令和2年：1,295g、13.0cm 平成31年：1,178g、15.4cm) オヤマ合せのみ、着生量が前年より増加し、着生範囲にも広がりがあった。その他の漁場では、着生量は前年並みであった。前年並みと予想される。
- 小下田**：(令和2年：1,327g、11.8cm 平成31年：1,883g、10.0cm) 着生量は前年より減少した。オバクサが多く、マクサの着生範囲は広くない。前年よりも減と予想される。
- 八木沢**：(平成31年：1,100g、10.7cm) 丸山では、船上からテングサが確認できなかったため、潜水しなかった。また八木沢港前では、マメタワラが繁茂し、テングサがほとんど確認できなかった。

以上の結果から、令和2年のテングサ作柄を以下のように予察しました。
「漁場によって着生量に増減が見られるが、県全体としては前年並み。」

表 1 テングサ作柄調査結果

地区	漁場名	令和2年			平成31年			令和2年 作柄予察 (前年対比)
		着生量 (g)	平均藻長 (cm)	水深 (m)	着生量 (g)	平均藻長 (cm)	水深 (m)	
稲取	沢尻	1,200	17.4	5.8	900	18.0	5.8	並～やや増
	造船場下	1,500	13.6	7.1	1,360	13.6	7.1	
	藤三港	1,080	20.8	5.8	-	-	-	
	見高境	1,080	17.0	7.8	1,040	17.8	9.9	
谷津	ハツロウ	1,520	18.8	8.6	1,600	26.1	9.2	増
白浜	釜の下	1,600	18.1	5.0	200	10.0	5.8	やや減～並
	板見増殖場	1,400	16.9	7.3	2,000	17.2	8.6	
	八代	2,000	18.8	4.8	2,450	22.8	4.5	
外浦	釜の浦	1,500	15.7	4.8	2,200	19.2	5.0	減
須崎	イケンダ	1,540	20.9	3.1	1,580	16.8	4.1	増
	中間	2,150	18.5	6.0	1,020	22.5	4.1	
下流	オヨジマ	3,200	18.9	3.6	2,400	24.4	4.7	並～やや増
	二つ根岡側	800	12.0	4.7	640	13.7	4.2	
雲見	島内	930	10.7	4.1	300	10.4	8.3	増
	イガミ島	840	8.9	7.1	220	8.1	7.2	
	ミツイシ沖	490	10.2	11.0	140	8.0	10.5	
岩地	ハギヤ浜	740	12.2	2.1	1,280	11.4	1.8	並
	ノウガハマ	730	10.3	2.4	480	8.5	3.2	
仁科	浮島(ショウジ)	1,220	13.8	4.8	1,480	13.8	4.8	並～やや増
	浮島(段)	1,850	11.6	2.3	1,200	11.6	2.3	
	南浜場	1,700	9.1	4.8	1,120	9.1	4.8	
	セバマ裏*	-	-	-	960	7.6	4.0	
	ホンボウ*	1,500	9.2	2.2	-	-	-	
	セバマ	1,340	11.1	2.8	760	8.5	2.4	
田子	シケンバ	940	10.6	3.4	830	16.2	7.9	並
	ニノ浦	1,060	12.6	7.4	1,200	13.5	1.1	
	オヤマ合せ	2,700	18.8	9.4	2,100	20.9	9.8	
	弁天	480	9.9	5.0	580	10.9	2.2	
小下田	小峰	1,700	13.1	6.0	2,300	10.0	5.9	減
	穴口	1,560	10.7	6.0	1,400	9.8	4.1	
	町田	720	11.5	4.3	1,950	9.4	5.4	
八木沢	丸山*	-	-	-	1,100	10.7	2.5	

* 漁業者の要望により調査地点を変更したためデータなし

(鈴木聡志)